



































チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念を明文化・掲示し従業員へ共有をしている。経営目標については、日々の朝礼等により共有しているところであり、技術力・生産性向上による社会貢献が我々の使命であることを理解し、やりがいを感じている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社会資本の整備を主な事業として成立している我社において、法令遵守は最重要であり、会社存続の為の第一歩と捉えている。月次安全訓練時に関連する法令を説明し持続可能な会社となれるよう取り組んでいる。															16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、自助努力による品質の向上・生産性の向上により競争するべく、日々の朝礼等により周知している。また、仕入先への不当な圧力、値引き等無いようチェックしている。										10					16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		現場でどのような工事が行われているか代表取締役が把握し、社会環境に負の影響が発生する可能性がある場合、社内にて検討し、発注監督員との協議において対応している。代表取締役と各現場代理人との日々の意思の疎通により体制を構築している。															16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標等自社事業に関連する知的財産保護、侵害排除について正しく理解し、代表取締役にてチェックできる体制としている。請負工事において、特殊工法等特許指定されている工法がある為、正しく理解し、適切な特殊業者及び特殊資材を判別し、選定している。								8.2 8.3	9						16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		会社情報及び従業員の個人情報等の保護として、個人情報管理者を配置した体制により管理している。また、ネットセキュリティの導入により情報漏洩防止対策としている。															16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		工事の担当者及び代表者によりステークホルダーとのコミュニケーションに取り組んでいる。資材の納入業者との懇親会を行っている。また、発注側(行政)との連携した環境保全活動についても取り組み、信頼関係の構築に取り組んでいる。														16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	事業承継については、財務的、技術的両面の検討が必要だと認識しており、財務的に健全に承継できるよう中長期的計画を検討している。本制度登録後、3年経過し事業承継について様々なケースを想定し検討した。そのような中で最重要事項として財務の健全化・安定化であり、「安定」については、特に人材確保について重要である。更新において今後の対策が最重要だと捉え取り組んでいる。									8	9							17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・教育・昇進・登用・福利厚生等において、雇用条件、職場環境等全てに差別しない体制、運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		各現場において毎月労働安全教育を実施している。また、年始の仕事始めにおいて、安全祈願祭を実施し、その後、安全衛生教育を実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		「同一労働同一賃金の原則」に沿い全従業員(正社員)の公正な待遇を行っている。(当社において正社員のみ)					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業ゼロ前提による工程管理の徹底、業務の効率化による労働時間の短縮に取り組み、仕事ばかりでなく家庭生活の充実を図っている。また、有給休暇の取得についても、仕事とのバランスを各自検討し取得するようにしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		基本的に能力開発等の技術向上研修会・資格取得試験について、会社負担とし、従業員の資格取得を奨励している。また、資格次第では手当制度を設けている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		日々の朝礼にて、各従業員との会話を心掛け、健康チェックを行うように心がけている。年に一度の健康診断について会社負担にて受診し結果を配布し、再受診項目については、受診するよう指導している。			3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	研修会への参加の際にウェブカメラでの参加を推奨し、カメラ等の機材を購入配布している。講習会等についてはオンライン講習にて受講している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9		12						


















チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。工事現場にて発生する残資材等(廃プラスチック等)適切な処分業者へ有料にて持込処分依頼している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		年間の電気使用量・燃料使用量を把握し、削減できる箇所、方法等を検討し、削減に取り組んでいる。買替重機に省エネ対策機を選定購入し、車両・重機の買替時、排ガス規制対象機種を購入しco2排出量削減に取り組んでいる。削減量については、co2排出量計算表(県作成)にて削減量を計算し意識の向上にも取り組んでいる。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事業活動によるガス搬出量削減に取り組んでいる。買替重機及び買替車両に排ガス対策機を採用し、現場・道路での排ガス排出を抑えている。登録から更新までの3年間に於いて、重機の買替機3台であり。全て燃費の向上及び排出ガス抑制機への買替とした。排出量の把握については、簡易計算シート(県作成)により計算把握し、削減量を確認することで意識の向上においても取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業及び従業員の活動において、現場(河川・山間地等)にて生息する生物・植物等できる限り「さわらない・とらない」を前提に保護している。現場での焚火の禁止・清掃の徹底を行っている。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		再生用紙の利用を推進している。また、ペーパーレス化、fax等の社内連絡用紙については裏紙を利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。洗車等に使用する水については、河川の水を利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙には再生用紙利用を推進している。また、給料明細袋については再利用封筒(社内製作)を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	森林の循環利用を鑑み、利用しやすい林道・作業道になるよう地元役場との環境整備協定にて年に1回、林道・作業道の整備をボランティアにて実施している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		受注工事において、品質証明員を配置し、品質管理を徹底している。また、使用重機、機械については管理者を任命し、適切に管理している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		誰もが使いやすいような社内環境整備を検討し、段差の解消、手摺の設置等安全性の向上に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	県内工場製作の資材使用を優先的利用促進し地産地消を推進している。測量杭・板等の使用可能な資材については、熊本県産材の利用を推進している。県産材であるものを購入利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。地域事業者として、地元のボランティア活動(多良木町主催)や環境保全活動(協定)を行っている。従業員の参加実績として、地域の「道づくり活動」「除草作業」等ボランティア活動に参加し地域への貢献に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所において、防災備蓄(敷鉄板)(土のう)や防災グッズ(乾電池等)を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域消防団の協力事業所として認定されている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17